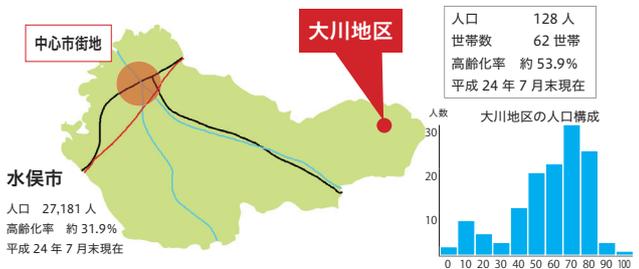


# 後継者発掘と ライフステージの転換で 限界集落からの脱却をめざす ～集落に限界をつくるな（水俣市大川地区編）～

Presented by チームA B O  
水俣市役所 橋迫 司郎  
芦北町役場 中村 圭一郎  
人吉市役所 吉岡 英一



**現状と課題** 水俣市の中山間地に位置する大川地区。過疎地ではあるが可能性を秘めた地区だ。大川地区の現状と課題を探った。



## 大川地区の現状

- ・水俣市中心市街地から車で30分ほどの中山間地に位置する
- ・人口減少、少子高齢化（水俣市で最も人口が少なく、高齢化率も高い）
- ・自分たちの地域の生活文化を来村者に紹介することで、誇りと元気を取り戻す取り組み「村丸ごと生活博物館」を展開⇒来場者は年間300人で推移。
- ・大川地区を含め近隣に「移住者」が多い。移住者同士のつながりがあり、地元の住民にも溶け込んでいる。

## 大川地区の課題

このままでは近い将来、村が存続できなくなる？

村が存続できないとは **後継者**がいなくなること  
➔ **後継者**を探せ！

- 後継者とは？**
- ①文化（生活・風俗など）の後継者
  - ②資産（家・農地など）の後継者
  - ③リーダーとしての後継者 など

## 地区住民の声

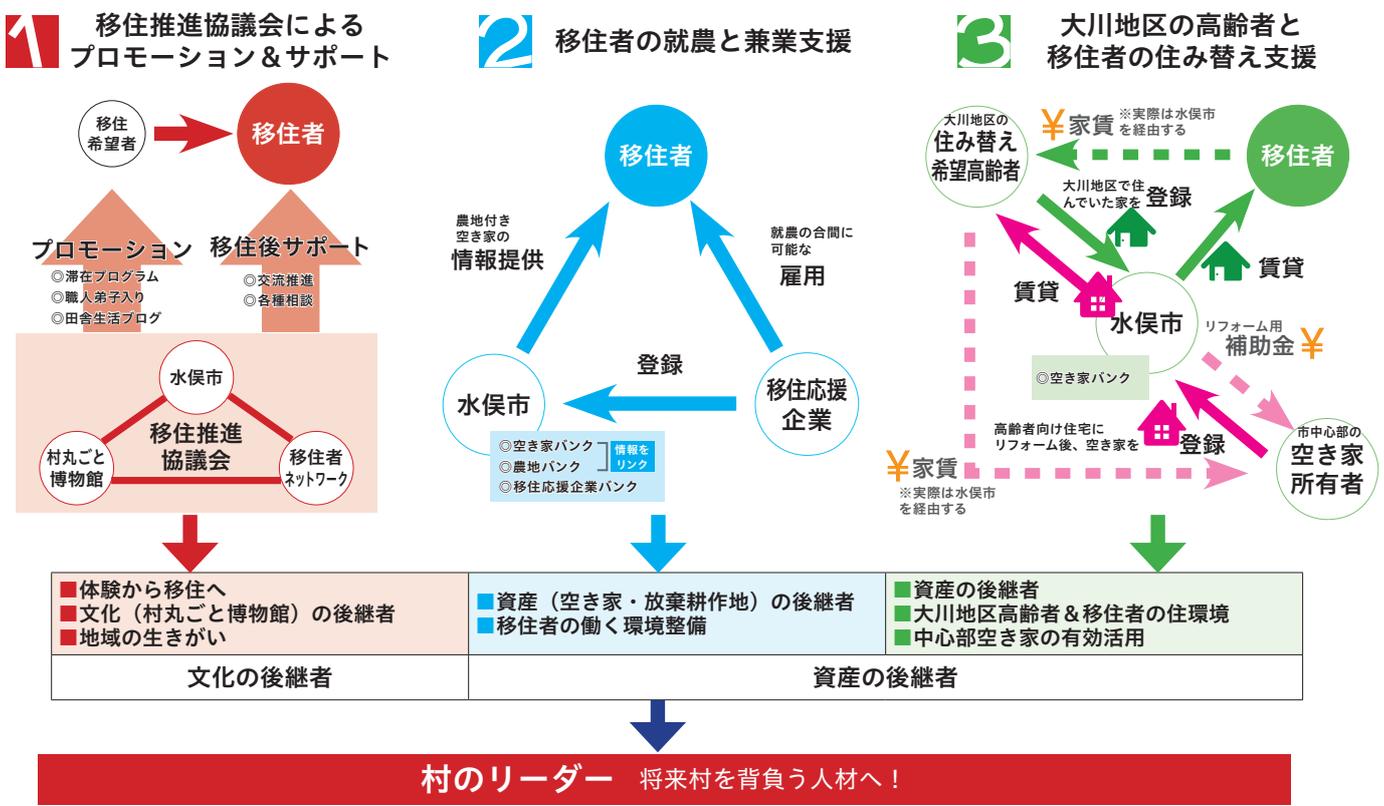
大川地区代表・村丸ごと生活博物館代表

- ・若手のメンバーが増えない。
- ・リピーターはいるが、移住にはつながらない。
- ・移住者に対して理解はある。

移住してきた「竹細工職人」

- ・隣の地区には、目的をもった若者2人が移住し、地域に溶け込み活躍している。
- ・移住者同士のネットワークがある。

**政策と期待される効果** 外部の人に抵抗が少ない土地柄を利用し、3本の政策（PR & サポート・就労・住宅）で後継者をつくる。



**将来の姿** 文化・資産の後継者が将来の村のリーダーにつながり、元気な村は続いていく……。



移住者が住み着くことで、地区の活気が戻る。  
現大川地区住民と移住者がお互いにサポートし融合。

いつまでも**続く**  
**元気で活力のある村**